

令和4年度 中学校区学園化構想実績



(城東中) 城東学園ふれあいコンサート



(第二小) 家庭科手縫いボランティア



(桜木小) 茶道体験



(三笠幼) 幼児と中学生の触れ合い体験学

◇中学校区学園化構想ポスター	P 2
◇令和4年度教育支援活動実績	P 3
栄川学園	P 4
掛東学園	P 5
掛西学園	P 6
桜が丘学園	P 7
原野谷学園	P 8
冀北学園	P 9
城東学園	P 10
大浜学園	P 11
若つつじ学園	P 12
◇広報プラスONE	P 13
◇かけがわ学園放送(掛川市ホームページ内)	P 23





掛川市

中学校区学園化構想

～ 学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育 ～

園小中一貫教育

園小中一貫研修会
園小中(高)の交流



園・学校支援ボランティア

R4 のべ 120,814 名
のべ 10,628 日

子ども育成支援協議会

【地域コーディネーターを中心に地域の力を園・学校へ！】

栄川学園



じっくり考え表現できる子
～人と関わり、自分を深める～

桜が丘学園



「やる気」「やさしさ」
「たくましさ」を持つ子

城東学園



報徳の心をうけつぎ、
城東が大好きな子どもの育成

掛東学園



やさしさ りりしさ 郷土愛

原野谷学園



夢を抱き りりしく歩む
原野谷っ子

大浜学園



ともに高め合い
夢に向かってがんばる子

掛西学園



自分で判断ができ、思いやりの
心をもった掛西学園の子

冀北学園



ふるさとを愛し
未来へはばたく子

若つつじ学園



みんなで育てよう！
大須賀っ子



市民総ぐるみで子どもを育てましょう！

掛川市ホームページで各学園の活動を発信中



令和4年度教育支援ボランティアの実績

(1) 園・学校支援ボランティアの実績

令和4年度

学園名	乳幼児施設		小学校	中学校 高等学校等	園児・児童・ 生徒数	子ども育成支援協議会		園・学校支援ボランティア	
						協議会人数	地域C人数	のべ人数	延べ日数
栄川学園	さかがわわ幼		日坂小	栄川中	386	31	3	6,072	616
			東山口小						
掛東学園	すこやかこども園	子育てセンターひだまり	第一小	東中 掛川工業高校 掛川特別支援学校	3,580	39	4	19,014	2,075
		かけがわのぞみ保育園	上内田小						
		モコ掛川保育園	西山口小						
		くるみ幼	中央小						
掛西学園	聖マリア保	子育てセンターさやのもり	第二小	西中	2,896	32	4	42,339	1,303
		すずかけっこ保	曾我小						
		掛川あそび保							
		子育てセンターともものもり							
桜が丘学園	さよさき保	みなみさいごうのぞみ保育園	桜木小	桜が丘中	1,581	33	3	8,806	1,015
		掛川こども園	和田岡小						
		こども広場あんり	原谷小						
			原田小						
原野谷学園	三笠幼	掛川中央幼保	城北小	原野谷中	655	44	3	6,105	618
		葛ヶ丘保	西郷小						
		保育所きぼう掛川上西郷園	倉真小						
		城東保	土方小						
城東学園	中幼	土方幼	佐束小	城東中	810	33	3	8,934	1,525
		佐束幼	中小						
		おおさかこども園	大坂小						
		ちはまこども園	千浜小						
大浜学園		おおさかこども園	横須賀小	大浜中	1,148	26	2	10,216	663
		よこすかぬく森こども園	大淵小						
若つつじ学園		おおふちそよ風こども園	横須賀中 横須賀高校	大須賀中 横須賀高校	1,376	37	2	6,481	1,205
合計		乳幼児施設32	小22	中9・高2 特別支援1	14,586	302	31	120,814	10,628

日坂地区 ・ 東山地区 ・ 東山口地区

栄川学園

さかがわ幼稚園
日坂小学校

東山口小学校
栄川中学校

じっくり考え表現できる子

～人と関わり、自分を深める～

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		415人	402人	405人	405人	386人
子ども育成支援協議会	協議会人数	30人	32人	31人	31人	31人
	地域C人数	1人	2人	3人	3人	3人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	741日	904日	662日	662日	616日
	のべ人数	4,581人	8,224人	5,813人	5,813人	6,072人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none">・ 避難所生活体験及び防災学習・ シニアクラブとの交流（グラウンドゴルフ・昔の遊び）・ 授業の支援（総合・生活、書写、クラブ活動、教科）・ 地域の方による登下校見守り隊				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(栄川中)地域の方による箏の指導



(東山口小)地域の方とクラブ活動



(さかがわ幼稚園)小学生との交流会



(日坂小)地区探検

掛 東 学 園

すこやかこども園 智光こども園 子育てセンターひだまり かけがわのぞみ保育園
 モコ掛川保育園 モコ宮脇保育園 掛川特別支援学校
 西山口小学校 上内田小学校 第一小学校 東中学校 掛川工業高等学校

やさしさ りりしさ 郷土愛

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		3,507人	3,407人	3,341人	3,341人	3,580人
子ども育成支援協議会	協議会人数	54人	37人	37人	37人	39人
	地域C人数	4人	4人	4人	4人	4人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	1,748日	1,795日	1,775日	1,775日	2,075日
	のべ人数	19,942人	19,755人	17,486人	17,486人	19,014人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ 区長さんと語る会 ・ 「笑顔であいさつ」運動 ・ 掛川学 ・ 各園校の行事、学習、クラブ活動等への支援 ・ 各園校の環境整備への地域住民の協力 ・ 全体研修会 ・ 給食試食会 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(すこやかこども園)花育教室



(上内田小)さつまいも掘り



(東中)職業講話



(第一小)2年生地域の人に学ぼう

掛西学園

すずかけっこ保育園
きよさき保育園

掛川聖マリア保育園
掛川あそび保育園
第二小学校

中央小学校

子育てセンターさやのもり
くるみ幼稚園
曾我小学校

子育てセンターとものもり
みなみさいごうのぞみ保育園
西中学校

自分で判断ができ、思いやりの心をもった掛西学園の子

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		2,871人	2,939人	2,908人	2,908人	2,896人
子ども育成支援協議会	協議会人数	35人	34人	34人	34人	32人
	地域C人数	3人	3人	4人	4人	4人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	1,051日	1,698日	1,334日	1,334日	1,303日
	のべ人数	14,353人	13,971人	9,112人	9,112人	42,339人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア交流会 ・ 防災手当てケア講座 ・ あいさつ運動（中学生が各小学校の校門で実施） ・ 保育・学習と生活の共通ルールを設定する ・ 掛西学園繋がる宣言 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(第二小)家庭科手縫いボランティア



(曾我小)交通教室



(聖マリア保育園)花の寄せ植え



(西中)あいさつで繋がろう運動

桜が丘学園

桜木こどもの森
桜木小学校

掛川こども園
和田岡小学校

こども広場あんり
桜が丘中学校

「やる気」 「やさしき」 「たくましき」 を持つ子

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		1,622人	1,598人	1,585人	1,585人	1,581人
子ども育成支援協議会	協議会人数	30人	31人	31人	31人	33人
	地域C人数	2人	3人	3人	3人	3人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	1,314日	1,332日	1,020日	1,020日	1,015日
	のべ人数	12,867人	12,288人	6,532人	6,532人	8,806人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・中学生による地域貢献活動（一部一ボラ） ・区長、区長OB、地域Cによるあいさつ運動 ・地域人材の活用（読み聞かせ、昔の遊び等） ・桜木小、和田岡小放課後子ども教室 ・eじゃん掛川を活用した情報発信、広報活動 ・桜が丘中消毒ボランティア 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(桜木こどもの森)ひまわり種まき



(桜が丘中)一部一ボランティア



(桜木小)3年茶道体験



(和田岡小)6年和田岡今昔物語

原野谷学園

こども広場あんり
原谷小学校

原田小学校
原野谷中学校

夢を抱き りりしく歩む 原野谷っ子

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		701人	699人	689人	689人	655人
子ども育成支援協議会	協議会人数	49人	51人	48人	48人	44人
	地域C人数	1人	2人	3人	3人	3人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	679日	926日	622日	622日	618日
	のべ人数	5,006人	5,027人	3,348人	3,348人	6,105人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同防災学習、地域防災訓練での紹介 ・読み聞かせ、図書館支援、書き初め指導等 ・原野谷の歴史学習、昔の生活体験 ・学校環境整備支援（草刈り、樹木選定等） ・「学園だより」の地区全戸回覧 ・小中一貫教育推進 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(原谷小)原田小と観音山報告会



(原田小)地元の技能マイスターから学ぶ



(原野谷中)原野谷学園文化祭



(こども広場あんり)つるさし

粟本地区 ・ 葛ヶ丘地区 ・ 城北地区 ・ 西郷地区 ・ 原泉地区 ・ 倉真地区

冀北学園

葛ヶ丘保育園 掛川中央幼保園 三笠幼稚園 きらきら保育園・分園 保育所きぼう掛川上西郷園
城北小学校 西郷小学校 倉真小学校 北中学校

ふるさとを愛し 未来へはばたく子

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		2,107人	2,161人	2,162人	2,162人	2,154人
子ども育成支援協議会	協議会人数	38人	40人	40人	40人	27人
	地域C人数	6人	7人	7人	7人	7人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	1,569日	1,078日	971日	971日	1,608日
	のべ人数	16,976人	18,568人	8,693人	8,693人	12,847人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・冀北学園のつどい ・「きほくま」着ぐるみグッズ製作、学園の行事等で活用 ・小学校でのあいさつ運動 ・「冀北の教え」ポスターを学園内保幼小中へ設置 ・「冀北の教え五か条」の実践 ・はぐくらぶ（子ども教室） 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(三笠幼) 幼児との触れ合い体験学習 北中2年生



(城北小) 読み聞かせボランティア



(北中) 1年生事業所別職業講話



(西郷小) 6年地域の人に学ぶ

城東学園

城東保育園
佐東小学校

佐東幼稚園
土方小学校

土方幼稚園
中小学校

中幼稚園
城東中学校

報徳の心をうけつぎ、城東が大好きな子どもの育成

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		876人	860人	847人	847人	810人
子ども育成支援協議会	協議会人数	33人	34人	34人	34人	33人
	地域C人数	3人	3人	3人	3人	3人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	988日	1,489日	1,185日	1,185日	1,525日
	のべ人数	8,283人	11,848人	7,170人	7,170人	8,934人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習7か条 ・あいさつ標語の掲示とあいさつ運動の推進 ・危険箇所マップの作成と確認 ・中3生進路指導支援（面接官ボランティア） ・放課後ぐんぐん寺子屋 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(中小)メロン農家見学



(土方・中幼稚園)年長児 土方小1年生との交流



(城東中)城東学園ふれあいコンサート



(佐東幼)大東ふるさと太鼓

大 浜 学 園

ちはまこども園 おおさかこども園
大坂小学校 千浜小学校 大浜中学校

ともに高め合い 夢に向かってがんばる子

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		1,266人	1,258人	1,216人	1,216人	1,148人
子ども育成支援協議会	協議会人数	28人	26人	26人	26人	26人
	地域C人数	2人	2人	2人	2人	2人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	1,158日	849日	444日	444日	663日
	のべ人数	12,643人	13,253人	13,270人	13,270人	10,216人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方の作品を展示 「大浜中・大坂小・千浜小ギャラリー」 ・ 放課後、夏休み子ども教室 ・ 大浜学園夏（秋）季集会（中止） ・ しめ縄づくり ・ 餅つき（中止） ・ 花壇整備指導 ・ 畑耕作支援指導 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(大坂小)2年生さつまいも掘り



(大浜中)街づくりシミュレーション



(千浜小)手芸クラブ



(ちはまこども園)しめ縄飾りづくり

若っっじ学園

よこすかぬく森こども園
横須賀小学校 大淵小学校

おおぶちそよ風こども園
大須賀中学校 横須賀高等学校

みんなで育てよう 大須賀っ子

学園の実績

		H30	R1	R2	R3	R4
園児・児童・生徒数		1,617人	1,587人	1,523人	1,523人	1,376人
子ども育成支援協議会	協議会人数	39人	40人	39人	39人	37人
	地域C人数	3人	3人	2人	2人	2人
園・学校支援ボランティア	のべ日数	1,884日	2,013日	1,632日	1,632日	1,205日
	のべ人数	10,424人	10,920人	8,073人	8,073人	6,481人
特色ある取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保幼小中合同引き渡し訓練 ・ 地区懇談会及び報告会 ・ 夏休みラジオ体操 ・ 学園化構想保幼小中高合同研修会 ・ 放課後子ども教室 				

各学園の活動や園・学校支援ボランティアの様子



(横須賀小)放課後子ども教室



(よこすかぬく森こども園)大須賀中2年生保育実習



(大須賀中)グラウンドゴルフ大会



(おおぶちそよ風こども園)大淵小との交流

2022年4月14日 総合的な学習で米作り学ぶ 和田岡小5年生が田植え体験

[いいね!](#)
[シェアする](#)
[ツイート](#)
[BIブックマーク](#)
[LINEで送る](#)

2022年4月14日更新



▲丁寧に苗を植えていく子どもたち

和田岡小学校の5年生27人が4月14日、地元農家の田んぼ約300平方メートルで田植え体験をしました。

子どもたちは地元農家の有志でつくる「米作り体験学習保存会」のメンバーから植え方を教わった後、実際に田んぼに入り、苗2〜3本を取り、前から30センチ、隣から20センチ程度の間隔で植えるなど、教わったことを思い出しながらも米「美美人」の苗を植えていきました。泥に足を取られながら丁寧に作業しました。

名倉妃南さんは「最初は難しそうだったけど、やってみたら簡単にできた。1つ1つ植えていくのが楽しかった」と笑顔で話しました。

今後は、9月の中旬ごろに稲刈り体験、1〜2月ごろに餅つきを実施する予定です。

2022年4月14日

2022年5月6日 総合的な学習でれんこん栽培を学ぶ 和田岡小3年生が植え付け体験

[いいね!](#)
[シェアする](#)
[ツイート](#)
[BIブックマーク](#)
[LINEで送る](#)

2022年5月6日更新



▲丁寧にれんこんを植える子どもたち

和田岡小学校の3年生22人が5月6日、和田岡地区の有志の農家で作る「蓮華の郷(れんげのさと)」の協力で、れんこんの植え付けを体験しました。総合的な学習の一環で、同地区で行われているれんこん栽培について学習します。

子どもたちはぬかるんだ田んぼに入り、泥だらけになりながらも、丁寧にれんこんを植えていきました。鈴木暲介さんは「楽しかった。田んぼに足がはまったけど、うまくできた」と笑顔で話しました。

9月ごろには収穫の体験も行う予定です。

2022年5月6日

2022年5月11日 閉園前の最後の恒例行事 佐東幼稚園泥んこ遊び

[いいね!](#)
[シェアする](#)
[ツイート](#)
[BIブックマーク](#)
[LINEで送る](#)

2022年5月11日更新



▲田んぼの中でかっこする風見

佐東幼稚園の4、5歳児15人とその保護者らが5月11日、近隣の田植え前の田んぼで毎年恒例の泥んこ遊びを楽しみました。

普段の生活で触れることが少なくなった泥の感触を楽しみながら、思い切り体を動かす遊びを体験することが目的。同園の毎年の恒例行事ですが、来年度3月末で閉園を迎えるため、最後の実施になりました。

はじめは恐る恐る田んぼに足を入れていた風見は、泥の感触に慣れてくると大はしゃぎ。「楽しい」「気持ちいい」などの歓声とともに泥まみれになりながら、かっこや滑り台、そり遊びなどを楽しみました。

市は同園を含む3幼稚園と1保育園を統合し、「城東認定こども園」を令和5年4月に開園する予定です。

2022年5月11日

2022年5月11日 アサギマダラをこの地域に 城東中でフジバカマ植栽

[いいね!](#)
[シェアする](#)
[ツイート](#)
[BIブックマーク](#)
[LINEで送る](#)

2022年5月11日更新



▲フジバカマの苗を植える生徒

城東中学校の生徒会6人と地域の有志で作る「アサギマダラの会」が5月11日、城東中学校の花壇でフジバカマの苗を植栽しました。

フジバカマは渡りちょうと呼ばれるアサギマダラが集まる花で、この地域にアサギマダラを呼びたいという同会の思いから実施。生徒は同会会長の髙山哲朗さんに植え方を教わった後、約50本の苗を丁寧に植えていきました。苗の世話は、生徒と同会が協力して行い、10月ごろの開花を待ちます。

髙山さんは「秋にはきっと城東中にもアサギマダラが来てくれる。一緒に待ちたい」と話し、生徒会長の溝口直さんは「何千キロと離れた場所まで飛ぶと知って驚いた。城東中にも来てほしい」と期待を述べました。

2022年5月11日



2022年5月26日 米作りを学ぶ 西郷、倉真小が田植え体験

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年5月26日更新



▲楽しそうに田植えをする児童

西郷小と倉真小の5年生約70人が5月26日、地元農家の田んぼで田植えを体験しました。社会科で学ぶ米作りについて、実際に体験することで学びを深めます。植えたのは、もち米「養美人」。地元の方から、苗の束から2・3本をちぎって植えることなどを教わりながら作業しました。10月ごろには収穫の体験も行われる予定で、できた米は、販売や餅つきに使用する計画です。西郷小の佐野成哉(なるや)さんは「手作業だと、かなり時間がかかることを実感した。田んぼに入った泥の感触が気持ちよかった」と笑顔で話しました。

2022年5月26日

2022年5月26日 収穫する喜びを体験 さかがわ幼稚園じゃがいも掘り

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年5月26日更新



▲大きなじゃがいもを収穫する園児

さかがわ幼稚園の年中・年長児26人が5月26日、地元農家の橋本美吉(みよし)さんの畑でじゃがいも掘りを行いました。毎年の恒例行事で、地域の方や自然と触れ合いながら、収穫する喜びを体験しました。園児たちは、「やったー」など歓声をあげながら、大きなじゃがいもを袋いっぱい収穫。収穫したじゃがいもは、家庭や園に持ち帰り、園では来月、カレーパーティーを行う予定です。年中の小野陸樹(むつぎ)さんは「大きいのがたくさんとれた。フライドポテトにして食べるのが楽しみ」と話しました。

2022年5月26日

2022年6月1日 最後の恒例行事 土方・中幼稚園梅採り

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年6月1日更新



▲木から落ちた梅を拾う園児

土方・中幼稚園の4、5歳児28人が6月1日、高天神城跡(上土方南向)の梅園で梅採りを行いました。同園毎年恒例の行事。令和5年4月に近隣の園と統合して認定こども園に移行する同園最後の梅採りとなりました。木になった梅の実を高天神城代や保護者、園職員が俵でふるい落とすと、園児は歓声をあげながら拾い集めていきました。集めた梅は、園でジュースにしたり家に持ち帰ったりして味わいます。

2022年6月1日

2022年6月6日 夢をあきらめないで 原野谷中で山崎さん講演会

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年6月6日更新



▲山崎さん(右)からバッティングの指導を受けるソフト部員

原野谷中学校で6月6日、東京オリンピックソフトボール金メダリストの山崎早紀さんの講演会が行われました。全校生徒約130人が山崎さんの話真剣な表情で耳を傾けました。山崎さんは生徒に、好きなことを長く続けること、目標に向かって諦めずに頑張ること、諦めなければ夢はかなうことなどを自身の体験を交えて話しました。生徒からは、苦手なことの克服方法や緊張したときの対処方法などさまざまな質問が挙がりました。講演会の後は、ソフトボール部への指導が行われ、キャッチボールやバッティングのアドバイスなどで部員と交流しました。小野田桜子さんは「オリンピックのソフトの試合を毎回見ていたので、原野谷中へ来てくれると知ってうれしかった。目標を立てて諦めないという話が印象に残っている。これからの受験勉強に生かしたい」と話しました。

2022年6月6日



2022年6月7日 地域おこし協力隊が講師 日坂小で地域活性化授業

いいね！0 シェアする0 ツイート0 ブックマーク0 LINEで見る

2022年6月7日更新



▲芳川さん（左上）の講演を真剣な表情で聞く児童

日坂小学校は6月7日、市の地域おこし協力隊の芳川さんらを講師に招いて地域活性化について授業を行い、6年生11人が参加しました。

総合的な学習の時間の一環で「日坂・東山に人を集める活動」を検討しています。地域おこし協力隊の活動内容を学び、地域を活性化させる方法についてアドバイスを受けることで、地域おこし活動につなげていきます。

一昨年首都圏から掛川市へ移住した芳川さんからは、移住先として掛川を選んだ理由や、協力隊としての取り組み内容などを紹介。自分たちが当たり前前に思っていること、していることが、外部の人にとっては価値があることなどが伝えられました。児童からは「外部の目線から見た日坂地区の課題」や「自分たちができること」などについて質問が飛び交いました。

鈴木隆叶（りくと）さんは「小さいことから取り組んで、徐々に仲間を増やしていきたい」と話しました。

2022年6月7日

2022年6月7・8日 避難所での役割など学ぶ 栄川中1年生が宿泊体験

いいね！0 シェアする0 ツイート0 ブックマーク0 LINEで見る

2022年6月8日更新



▲心肺蘇生訓練を行う生徒

栄川中学校1年生が6月7日・8日、広域避難所になっている同校体育館で1泊2日の避難所生活体験学習を地区の自主防災会などと連携して行いました。東日本大震災後から毎年実施していて、今年で10年目になります。

1日目は、炊き出しやパーティション・簡易ベッドの設置、地図を使って防災対策を検討する災害図上訓練(DIG)を実施。2日目は、炊き出し、心肺蘇生(AED)訓練、三角巾の使い方の学習などで、避難所生活のあり方や中学生の役割について理解を深めました。

三浦健心さんは「知らなかった知識などを学べて良い経験になった。災害が起こったら、リーダーになったつもりで率先して動きたい」と力強く話しました。

2022年6月7・8日

2022年6月9日 弧を描くボールに歓声 さかがわ幼稚園 ティーボール体験

いいね！0 シェアする0 ツイート0 ブックマーク0 LINEで見る

2022年6月9日更新



▲地域住民から打ち方を教わる園児

さがわ幼稚園の年長児13人が6月9日、投手がボールを投げる代わりに、バッティングティーの上に置いたボールを打者が打つ野球「ティーボール」を体験しました。野球経験のある地域住民や中高年軟式野球チーム「掛川ファイターズ」のメンバーが指導に参加し、交流しました。同園恒例の行事。発達段階に合わせた運動遊びで心身を育てることを目的に平成28年から続けられています。

園児はボールを転がすキャッチボールから始めボールに慣れた後は、バッティングティーと呼ばれる器具にボールを乗せて打ちました。弧を描いて飛ぶボールに園児や職員からは歓声が飛び交いました。

2022年6月9日

2022年6月13日 市内幼稚園など85か所へ 掛川茶贈呈式

いいね！0 シェアする0 ツイート0 ブックマーク0 LINEで見る

2022年6月13日更新



▲協会役員（後列）からお茶を受け取った子どもたち

掛川市役所で6月13日、掛川茶の贈呈式が行われ、掛川茶振興協会（久保田崇会長）から深蒸し掛川茶1,273キロが市内の幼稚園や小中学校、福祉施設など85か所に送られました。

本事業は昭和56年からスタートし、今回で42回目。子どもたちがお茶を飲んで、心身ともに健康に生活できるよう願いを込めて贈られました。

久保田会長は「茶農家や茶商社が丹精込めて作っているお茶を楽しんでほしい」と話しました。

2022年6月13日



2022年6月17日 お茶の加工工程を学ぶ 和岡小が茶工場見学

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年6月17日更新



▲加工途中のお茶の感触を確かめる児童

和岡小学校3年生25人が6月17日、総合的な学習の一環で吉岡製茶農業協同組合の茶工場を見学しました。毎年の恒例行事で、加工前の生葉から荒茶になるまでの工程を、工場の方から説明を受けながら学習しました。

児童は、加工するためのさまざまな機械の内部を見たり、加工途中の茶葉のにおいや感触を確かめたりしながら見学。その後、質疑応答が行われ「お茶は何日できるか」「お茶を作るのは難しいか」など多くの質問がありました。

山本心晴(こはる)さんは「機械がたくさんあって楽しかった。学校で出るお茶をもっとたくさん飲みたい」と話しました。

2022年6月17日

2022年7月6日 災害時の役割を確認 中・高合同の防災訓練

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年7月6日更新



▲簡易ベッドを組み立てる生徒

大須賀中学校3年生と横須賀高校生約280人が7月6日、広域避難所に指定されている横須賀高校で合同防災訓練を行いました。

生徒はグループに分かれ、避難経路の確認や簡易ベッド・パーティションの組み立て、トイレの設置などを実施。中学生と高校生が協力して、災害時の役割を確認しました。

大須賀中学校の佐々木深希(らいき)さんは「ベッドの組み立てが1人でできず大変だった。みんなと協力することが大事だと学んだ。自分は力があるので、災害時には力仕事を率先して行いたい」と話しました。

2022年7月6日

2022年7月13日 命を守る知識と技能を学ぶ 城東中で救命救急講座

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年7月13日更新



▲AEDの後に胸骨圧迫をする生徒

城東中学校で7月13日、救命救急講座が開催され、部活動の部長・副部長16人が参加しました。「f.a.n.地域医療を育む会」の方を講師に招き、部活動中に事故が起きた際、迅速かつ正確に動くよう自動体外式除細動器(AED)を使用した救命救急法を学びました。

生徒は、講師の実演を見て、人が倒れているのを発見したときの救助の手順やAEDの使い方を学んだ後、グループに分かれて1人ずつ実施。胸骨圧迫やAEDの使用など、緊張感を持って取り組みました。

藤田幸奈(ゆきな)さんは「どこで誰が倒れているかわからないので、冷静に救ったことができるようになりたい」と話しました。

2022年7月13日

2022年7月13日 身を守る対処法を学んで ネット安全ガイドブック贈呈式

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年7月13日更新



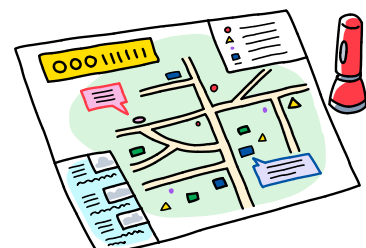
▲佐藤教育長(右)へガイドブックを手渡す石原さん(中央)

市教育委員会で7月13日、「中学生のためのネット安全ガイドブック」贈呈式が行われ、公益社団法人日本公衆電話会静岡支部の相談役・石原央(ひろし)さんと事務局員の西川孝志さんから、佐藤教育長へ手渡されました。平成30年から毎年番贈されており、市内全中学校の1年生に1200冊が配付されます。

ガイドブックは中学生向けに作成。インターネットに潜む危険を、実際の事件を掲載し「当事者」として考えられるように編集されています。

西川さんは「実際の事件をリアルに書いてあるので、生徒一人ひとりに読んでもらい、身を守る対処方法を学んでほしい」と話し、佐藤教育長は「GIGAスクールの推進で、ネットに触れる機会がさらに増え、安全に利用できるよう指導が必要。その資料として活用させてもらおう」と感謝を述べました。

2022年7月13日



2022年7月14日 パラ種目に挑戦 和岡小ポッチャ教室

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年7月14日更新



▲ジャックボール（白）に向けてボールを投げる児童

和岡小学校は7月14日、掛川市ポッチャ協会員4人を講師に招き、パラリンピック公式種目「ポッチャ」の授業を行いました。6年生27人がルールを学び、競技を体験しました。同校が推進するインクルーシブ教育の一環。子どもの多様性を尊重し、障がいがある子どもも一緒に学ぶ環境を目指しています。同校2階にはポッチャの専用コートがあり、該学年級の児童と通常学級の児童が休み時間にポッチャで遊んでいます。競技は12.5m×6mのコートで進行。先攻のチームが投げたジャックボールを基準に、両チームがそれぞれ最大6球を投げ、目標をよりジャックボールに近づけたチームが勝者となります。ボールをぶつけることでジャックボールをはじめとしたコート上のボールを動かすことができ、状況が常に変化するため高度な戦略が要求されます。鈴木孝宗さんは「相手のボールをぶつけて動かして楽しかった。これからみんなで楽しみたい」と話しました。今後は、全校児童がポッチャを学ぶことで校内の交流を促すほか、全校でのトーナメント戦なども行う予定です。

2022年7月14日



2022年7月20日 身近な土木を感じて 上内田小キャリア教室

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年7月20日更新



▲講師の職員の話を聞く児童

上内田小学校で7月20日、袋井土木事務所の職員2人を招いてキャリア教室が行われました。身近にありながら意識することが少ない、土木の仕事について児童21人が学びました。同校のキャリア教育の一環。総合的な学習で「夢に向かって」と題して、さまざまな仕事について学び、考えることを目的とした授業を行っています。場では、「土木」と「倶楽部」、「Love(ラブ)」をかけた「どぼくらぶ」という名称で、土木に関する仕事の内容や社会的意義の周知を図っています。児童は「土木」と「建築」の違いのほか、「土木」が身の周りにたくさんあって、それらが生活を便利にし、時には命を守っていることを学びました。講師はこれまで「きつい」「汚い」「危険」の3Kとされてきた職場が最新のデジタル技術や遠隔操作技術などを活用して大きく変化していることに触れ、「土木業界は大きな仕事を行い、人の役に立つことができる。身近な土木を感じてほしい」と総括しました。

2022年7月20日

2022年7月14日 夢へ踏み出すきっかけに 三木つばき選手講演会

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年7月14日更新



▲後輩に笑顔で講演する三木選手(奥左)



▲オリンピックで着用された上着を触る児童

桜木小学校で7月14日、同校出身で北京オリンピックのアルペンスノーボード競技に出場した、三木つばき選手の講演会が開催されました。6年生117人が、あこがれの先輩の語に熱心に耳を傾けました。

児童は三木選手から、夢をかなえられるかは「好き」と思える瞬間が多いかどうか、夢がきたら、いつ・どこで・どんな風にといった具体的な目標をたてることなどを教わりました。質疑応答では、失敗したときの気持ちの切り替え方や海外で楽しかったことなど、さまざまな質問が上がりました。また、三木選手がこれまでに獲得したメダルやトロフィーを触ったり、オリンピックで着用した上着を着たりするなど貴重な経験に目を輝かせました。

三木選手は「自分の夢へ1歩踏み出すきっかけになつてくれれば、子どもたちが頑張る分、自分も頑張ろうと思った」と話し、鈴木愛菜(まな)さんは「将来は、教育や福祉の仕事を考えているが、今何ができるかなど考えられていなかった。三木選手の黒らなくていいという言葉に励まされた」と笑顔を見せました。

2022年7月14日

2022年9月30日 地域の良さを感じて さかがわ幼稚園茶摘み体験

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年9月30日更新



▲楽しそうにお茶を摘む園児

さかがわ幼稚園の年長児13人が9月30日、富士東製茶農協同組合の茶畑でお茶摘み体験をしました。地域の特産物であるお茶を目で見て、触れて、食することで、地域の良さを感じてほしいと、毎年行われています。

園児は同組合の松浦永治さんから「黄緑色の葉をとること」「芯と、その下の2枚の葉の部分の摘むこと」を教わった後、かごいっぱいにお茶を摘み取りました。摘んだお茶は、園で天ぷらにして食べるほか、家に持ち帰って家族と食べる予定です。

田中飛羽(とわ)さんは「初めてお茶摘みして楽しい。家で天ぷらにしてみよう」と笑顔で話しました。

2022年9月30日

2022年10月3日 地域の危険箇所を確認 原野谷中で災害図上訓練

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク | LINEで見る

2022年10月3日更新



▲地域の方(中央)と危険箇所などを確認する生徒

原野谷中学校の3年生40人が10月3日、災害図上訓練(DIG)を行いました。県西部地域危機管理課の職員を講師に招き、地域の危険箇所などを把握しておく大切さを学びました。

生徒は通学区ごと10グループに分かれて、自分の住んでいる地域の地図に避難所や小・中学校、公衆電話のある場所などにシールを貼ったり、危険箇所を書き込んだりしました。各地区の自主防災会員も参加し、安全な避難経路などをより詳しく確認。訓練の最後には地域の課題や今のうちに備えておいた方がいいことなどについてグループで意見を出し合いました。

平尾美さんは「地域の方と確認できて、危険箇所などがよくわかった。家族にも共有したい」と話しました。

2022年10月3日

2022年10月11日 広い視点から米作りを学ぶ 佐東小稲刈り体験

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク | LINEで見る

2022年10月11日更新



▲刈り取った稲をそろえて並べる児童

佐東小学校の5年生20人が10月11日、校舎西側の地元農家の田んぼで稲刈りを行いました。総合的な学習の一環で毎年実施。普段口にする米がどのようにして食卓に届くのかを学ぶため、これまで地元農家の協力で、もみまきや肥料まき、田植えなどを体験してきました。

児童は、地元農家の指導を受けて、たわむれに実った稲を鎌で刈り取っていました。手前に引くというアドバイスを実践し、サクサクと切れる感触に歓声を上げました。

伊藤翔真(こなつ)さんは「植えるときは小さかったが、大きく伸びて驚いた。刈るときは鎌を手前に引くと力がいらす刈ることができた」と話しました。

今後は脱穀した米を保護者に販売する機会を設けるなど、売る側も含めた広い視点から米作りを学びます。

2022年10月11日

2022年10月13日 地域の方と交流深める 大須賀中グラウンドゴルフ大会

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク | LINEで見る

2022年10月13日更新



▲地域の方とグラウンドゴルフを楽しむ生徒

大須賀中学校は10月13日、中学生と地域住民の交流を深めるため、同校でグラウンドゴルフ大会を開催しました。1年生約100人と市グラウンドゴルフ協会大須賀支部のメンバー約20人がグループに分かれて成績を競いました。

グラウンドゴルフは、所定のボールをホールポストと呼ばれるゴールに入れるまでの打数の少なさを競う競技。生徒は、同会の方に打ち方などを教わりながら、楽しそうにプレーしていました。

モラレス ジャスティンさんは「初めてで、ボールを打つ力の強さを加減するのが難しかった。遠くのホールポストに入ったときはとても楽しかった」と笑顔を見せ、同支部長の夏田善宇(よしえ)さんは「良い体験になったと思う。40、50歳になったときに今回の事を思い出して、グラウンドゴルフを始めてくれればうれしい」と話しました。

2022年10月13日

2022年10月20日 お米作りを学習 上内田小5年生が脱穀体験

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク | LINEで見る

2022年10月20日更新



▲脱穀機に稲を入れる児童

上内田小学校の5年生20人が10月20日、地元農家の協力でもち米の稲の脱穀を体験しました。児童は束になっている稲を両手いっぱい抱えて運び、脱穀機にかけていきました。

同校5年生は、総合的な学習の時間に米作りを学んでいます。6月には田植えを体験。稲刈りは悪天候により体験できませんでしたが、12月には今回脱穀したついでに、しめ縄を作る予定です。また、もち米は精米して家に持ち帰ります。

橋本拓馬さんは「初めての体験で緊張したが、機械に入れる瞬間が楽しかった。お米は、きなこと餅にして家族と食べたい」と話しました。

2022年10月20日



2022年10月25日 普段できない体験に歓声 佐栄幼稚園 山遊び

いいね！0 シェアする0 ツイート0 B!ブックマーク0 LINEQR0

2022年10月25日更新



▲ロープを使って斜面を登る園児

佐栄幼稚園4、5歳児15人が10月25日、園舎付近の山で山遊びを楽しみました。保護者5人も安全を見守りながら加わり、ロープを使って斜面を登ったり、山の中を探検したりして体を元氣いっぱい動かしました。同園恒例の行事、同園は今年度閉園するため、最後の開催となりました。地元住民の厚意で借りた山には、危険箇所へ立ち入ったり、迷ったりしないようにロープで安全対策が施されています。園児はどんぐりや樫の実を見つけたり、鳥の声を聴いたりと興味津々。普段できない経験に大声をあげて楽しみました。園の先生は「自然の中でバランス感覚を育み、体を動かす楽しさを知ってほしい」と話しました。

2022年10月25日

2022年10月26日 秋の味覚をいっぱい収穫 三笠幼稚園 さつまいも掘り

いいね！0 シェアする0 ツイート0 B!ブックマーク0 LINEQR0

2022年10月26日更新



▲収穫したさつまいもを運ぶ園児

三笠幼稚園は10月26日、園舎北側の地元農家の畑でさつまいも掘りを行いました。園児70人が、畑のボランティア・PTA役員の方や先生と協力しながら土の中から大小さまざまなさつまいもを掘り出しました。お手伝いの方との交流や収穫する喜びの体験が目的。6月に自分たちでつるさしを行い、その後水かけなどをして成長を見守ってきました。元気に育ったさつまいもは園児の力では抜けないものも多く、お手伝いの方が地面を掘り返すなどで協力して収穫していました。西塚濤介(そうすけ)さんは「画がたったけど力いっぱい抜いた。たくさん採れて楽しかった」と息を弾ませました。収穫したさつまいもは家に持ち帰るほか、園でも調理して食べることで食育にもつなげていきます。

2022年10月26日

2022年11月15日 防災意識向上を図る 土砂災害防災訓練を実施

いいね！0 シェアする0 ツイート0 B!ブックマーク0 LINEQR0

2022年11月15日更新



▲手伝ってもらいながら土のうを作る生徒

樹川北中学校で11月15日、生徒の防災意識向上を図るため、土砂災害防災訓練が行われました。1年生169人がスムーズな避難や災害復旧時に戦力として活躍するための方法を学びました。訓練は樹川警察署、市建設業組合、市民グループ「協働遠州」、市消防署、市危機管理課が協働して、土石流から逃げる訓練や土のう作り訓練、起震車で地震体験などを実施。土のう作りでは袋の縛り方や積む向きを、起震車では震度7の揺れを体験し、生徒は災害への備えの重要性などを再認識しました。

青木梓奈(はんな)さんは「災害はこわいと実感した。土のうの作り方や震度7の揺れなど、実際に体験できてよかった」と振り返りました。

2022年11月15日

2022年11月22日 勉強に役立てて キャタラーがICT機器を寄贈

いいね！0 シェアする0 ツイート0 B!ブックマーク0 LINEQR0

2022年11月22日更新



▲久保田市長に目録を手渡す佐伯専務(右)

千浜小学校で11月22日、ICT機器の贈呈式が行われました。創立55周年を迎えた(株)キャタラーが地域貢献の一環として、大東地域の7小中学校にタブレット端末を使用した授業に活用する大型デジタルテレビ9台や、電子黒板機能付きプロジェクター16台などを寄贈。佐伯元康専務から久保田市長に目録が手渡されました。

久保田市長は「大変ありがたい寄付をいただいた。しっかり感謝して、学習に役立ててください」と1年生30人に語り掛けました。

同社はこれまで5年ごとに寄付を実施。前回は千浜小学校体育館建て替えの記念に、グランドピアノを贈っています。

2022年11月22日



2022年11月25日 掛け声に合わせてカー杯餅つき さかがわ幼稚園で恒例行事

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年11月25日更新



▲カー杯餅をつく園児



▲おいしそうに餅を食べる園児

さがわ幼稚園で11月25日、もちつき会が行われ、全国児約40人が毎年の恒例行事を楽しみました。近隣の田んぼまでとれたもち米約7千口を、あんこ餅やきなこ餅にして食べました。

東山口良質米卸会の方や保護者の協力で、もち米を蒸した後にきねとうすでつき、できた餅を一人分ずつ分配。園児はできたての餅を丸く広げ、真ん中に置いたあんこを包んであんこ餅を作って食べました。また、年長児は子ども用のきねで餅つきを体験。「よいしょ!」の掛け声に合わせてカー杯餅をつきました。

年長児の松本颯太さんは「きねが重くて大変だった。お餅がおいしかった」と笑顔を見せました。

2022年11月25日

2022年12月10日 毎年の伝統行事 倉真小でジャンボ門松作り

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年12月10日更新



▲大きな門松に飾り付けをする児童

倉真小学校で12月10日、ジャンボ門松作りが行われ、5・6年生15人とその保護者、地域の方々などが、高さ約5メートルの大きな門松を制作しました。毎年行われている伝統行事。完成した門松は学校の正門に飾られ、倉真地区の新春の風物詩となっています。

3本の竹を縄でまとめ、その周りに松や梅、栗ボタンなどを挿え込んで飾り付けをしました。ジャンボ門松づくりの後は、6年生の親子がミニ門松作りを実施。卒業に向けての思い出作りをしました。

参加した児童からは「大変だったけど立派な門松ができてうれしい」「今年も良い門松が完成した」など喜びの声が上がりました。

2022年12月10日

2022年12月1日 災害時は地域の担い手に 大浜中学校で防災学習

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年12月1日更新



▲傷病者の運搬を実践する生徒

大浜中学校で12月1日、掛川市防災士の会（内田光則会長）や掛川市赤十字奉仕団（武田和子代表）を講師に招いて防災学習が行われ、全校生徒が災害時に地域の担い手として活躍できるよう防災の知識や対応方法を学びました。

同校は学区に津波浸水区域を持つため、例年防災学習に力を入れています。今回は学年ごとに内容を変えて行われ、1年生は掛川市防災士の会から各家庭での地震への備えを、2年生は同校職員から三角巾を使った応急処置の方法や傷病者の運搬方法を、3年生は掛川市赤十字奉仕団からアルファ米の調理の仕方などを学びました。

参加した生徒は「災害時は中学生の力も必要になると思うので、役立てるようにしっかり学びたい」と真剣な面持ちで話しました。

2022年12月1日



2022年12月13日 昔から受け継がれる伝統を体験 上内田小でしめ縄づくり

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | ブックマーク 0 | LINEQR

2022年12月13日更新



▲地域の方に手伝ってもらいながらしめ縄を作る児童

上内田小学校で12月13日、しめ縄づくりが行われ、5年生が地域の方から教わりながら昔から受け継がれている伝統を体験しました。

総合的な学習の時間に米作りを学んでおり、6月には田植えを、10月には脱穀を体験。今回は10月に脱穀したわらを使ってしめ縄を作りました。児童は地域の方から作り方のコツを聞いたり、難しい作業は手伝ってもらったりしながら、楽しそうに取り組みました。

前田愛莉さんは「難しかったけど楽しかった。作ったものを家に飾って正月を迎えたい。家族にも作り方を教えたい」と話しました。

2022年12月13日

2022年12月26日 年末恒例の美化ボランティア 桜が丘 中学校が桜木駅清掃

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2022年12月26日更新



▲フェンスを塗りなおす野球部員

桜が丘中学校は12月26日、地区内の天竜浜名湖鉄道「桜木駅」で、駅舎美化ボランティアを行い、野球部から15人が参加しました。同校の年末恒例行事。1部1ボランティアと銘打って、各部活が地区の各地で美化ボランティアなどを行っています。同駅を拠点に活動する市民グループ「ぼっぼや桜木会」（甲賀正子代表）の協力を得て、今年は野球部員が駅舎やトイレ、駐輪場などに分かれ、輪留めやフェンス、構内の白線の塗り直しなどに汗を流しました。山口蒼一郎さんは「いつもお世話になっている地域の方へ恩返しができた」と喜びを語りました。

2022年12月26日

2023年1月11日 オリジナルの絵手紙作成 和岡小で教室開催

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2023年1月11日更新



▲描いた絵に絵の具で色をつける児童

和岡小学校で1月11日、絵手紙教室が開催され、2年生～6年生の児童15人が参加しました。昨年11月30日、12月7日に続き3回目。児童は和紙に筆ペンで今年の抱負と絵を描き、絵の具や色ペンで色を塗ってオリジナルの作品を完成させました。

放課後子ども教室コーディネーターの企画運営のもと、地域の方が講師を務めました。児童はペンの持ち方や線の書き方、色の塗り方を教わり、自分の描きたいものの写真や実物を見ながら作成。今年の干支(えと)やピアノ、サッカーボールなどさまざまな絵と「計算を頑張る」「ホームランを打つ」などの抱負を楽しそうに書いていました。

参加した3年生の柳澤愛梨さんは「絵手紙づくりは初めて。とんとんしながら色塗りをするのが楽しかった」と笑顔を見せました。

2023年1月11日

2023年1月17日 昔ながらの遊びに挑戦 さかがわ幼稚園 でこま回し

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2023年1月17日更新



▲ひもの巻き方を教わる園児

さがわ幼稚園で1月17日、年長児13人が昔ながらのこま回しに挑戦しました。伝承遊びに親しむことや、諦めずに挑戦する気持ちを養うことが目的。同園の冬の恒例行事で、毎年地域の方の協力で行われています。

ひもの巻き方やこまの投げ方のコツを教わった園児たちは、何度もこまを投げ徐々に上達。うちわや下駄ぎを使った技にも挑戦しました。その姿に、地域の方や職員からは感嘆の声があがりました。

竹下真菜(なな)さんは「回すのは難しかったけど、楽しかった」と満足そうに話しました。

2023年1月17日

2023年1月23日 受験生をお茶で応援 北中で贈呈式開催

いいね! 0 | シェアする 0 | ツイート | B!ブックマーク 0 | LINEで見る

2023年1月23日更新



▲受験生へお茶を配る堀井さん(中央)

北中学校で1月23日、お茶の贈呈式が行われました。学区内にある五明茶業組合から受験生174人へ「願い星」「叶い星」と名付けられたお茶のティーバックのセットが配られました。

受験生を応援しようとして行われており、今年で3回目。贈呈されたお茶には、受験生の願いがかなってほしいという思いが込められています。

堀井さんは「みなさんを少しでも励ますことができればと思います。お茶を贈呈した、日本一の茶産地であることに誇りを持ってもらえるようお茶づくりを頑張るので、みなさんもお茶を飲んで頑張ってください」と激励し、戸塚直太さんは「応援を胸に受験に向けて頑張りたい」と感謝を述べました。

2023年1月23日



2023年1月26日 収穫の喜びを感じる 和田岡小で餅つき体験

👍 いいね10 📄 シェアする0 🐦 ツイート 📌 フックマーク 📞 LINEで送る

2023年1月26日更新



▲力強く餅をつく児童

和田岡小学校の5年生26人が1月26日、同校で餅つきを体験しました。地元の「米作り体験学習保存会」の協力で、3年ぶりに実施。児童は「よいしょ」の掛け声に合わせて、力一杯餅をつきました。

1年を通して総合的な学習の時間などに米作りについて学んでおり、4月に田植えを、9月に稲刈りを体験。自分たちが収穫したもち米で餅をつき、農家の収穫の喜びなどを感じました。ついた餅は形を整え、おのおの持参したあんこやきなこなどをつけて食べました。

大庭侑奈さんと木場莉穂さんは「やる機会がなかったので初めてできて楽しかった。またやりたい」と笑顔を見せました。

2023年1月26日

2023年2月12日 原田小5年生が地元事業者と商品開発

👍 いいね10 📄 シェアする0 🐦 ツイート 📌 フックマーク 📞 LINEで送る

2023年2月12日更新



▲「おいしいよ」と開発に携わった原田小5年生

原田小学校5年生9人は2月12日、地元の企業（成神工業）とドライレタスシートを商品化し、かけがわ西の市で販売をしました。

この商品は、「原一レタシー」と名付けられ、大きさを整えるために廃棄されるレタスの外葉で作られる海苔のような食感のドライレタスで、昨年度から原田小学校の5年生が開発に携わっています。

今年度は、「ピリ辛」や「梅いわし」の味も追加で商品化されました。

児童は、お客さんに食べ方の説明をしながら店頭販売をし、当日販売予定の100個すべてを完売しました。

戸塚武志(にいち)さんは「原田小や原谷小の児童を含めたくさんの人に意見をもらって開発した。多くの人に食べてもらいたい」と商品に自信をみせました。

「原一レタシー」は、3月末まで「かけがわ西の市」で購入できます。

2023年2月12日





中学校区学園化構想

～ 学校・家庭・地域が連携して子どもを育む教育 ～

中学校区学園化構想とは

中学校区を「学園」と呼び、各学園内の保・幼・小・中学校が連携を強化し、地域に根差した一貫性のある教育を実施するとともに、地域連携による園・学校支援活動などを通して、市民総ぐるみでの教育活動を推進します。



【中学校区学園化構想のめざすもの】

掛川市教育委員会では、「夢とこころざしを持ち、ともに学び、豊かな未来を創造するひと」を基本目標として、市民総参加による教育の振興に努めるとともに、協働によるまちづくりを推進して、本市の未来を担う人づくりを行います。

この市民総ぐるみの取組の展開により、多くの地域の大人が、子どもたちの成長にかかわることによって、子どもたちに多様な体験や経験の機会が増え、広い人間関係づくりが期待されます。

市民総ぐるみで子どもを育てる体制づくり

学校・家庭・地域が連携し、市民総ぐるみで子どもを育む体制（組織や運営方法など）をつくるため、学園（中学校区）ごとにその中核となる組織「子ども育成支援協議会」が設置されています。子ども育成支援協議会は、各地域で活動する様々な団体や個人が参画し、地域の実情に応じて組織されており、協議会の運営や事務、そして地域と学校をつなぐ重要な役割を担う「地域コーディネーター」をそれぞれ配置しています。



地域コーディネーターの主な業務

- (1) 園・学校支援ボランティア要請の受付
- (2) ボランティア活動のコーディネート(募集・手配・調整・確認)
- (3) 人材リストの整備
- (4) 地域への広報活動(地区の会議への出席、学園だより発行)
- (5) 子ども育成支援協議会の開催(資料作成、通知発送、当日進行)
- (6) 子ども育成支援協議会の会計管理
- (7) 教育委員会との契約に関わる書類の作成

など

授業で生きる、地域のか



冀北学園の地域コーディネーター、浅井正子さんの進行により、学校と地域のつながりを紹介します。「市民総ぐるみの教育」につながる取組を御覧ください。



各学園の取組み

学園の活動実績（9学園合計）

年度	子ども育成支援協議会		園・学校支援ボランティア活動	
	協議会委員	地域コーディネーター	延べ日数	活動述べ人数
平成26	304人	28人	10,068日	72,732人
平成27	301人	26人	11,335日	102,421人
平成28	323人	25人	12,032日	123,284人
平成29	338人	25人	11,984日	108,112人
平成30	336人	26人	11,132日	105,075人
令和元	325人	29人	12,084日	113,854人
令和2	320人	31人	9,645日	79,497人
令和3	318人	31人	9,361日	75,558人
令和4	302人	31人	10,628日	120,814人

各学園の取組み

地域の特色を活かした活動がそれぞれの学園で多数実施されています。
各学園の体制や活動内容の詳細については、学園毎のページをご覧ください。

(下記画像をクリック)



学園化推進連絡協議会・地域コーディネーター会議

学園化推進事業が円滑に、また、発展的に進むよう、各学園の子ども育成支援協議会の代表者による情報交換や実践発表などを行う連絡協議会と地域コーディネーターを対象とした会議を実施しています。



令和5年度の中学校区学園化推進連絡協議会、地域コーディネーター会議の開催予定

中学校区学園化推進連絡協議会

令和5年4月20日(木曜日) 午後2時から

地域コーディネーター会議

第1回 令和5年 6月 2日(水曜日) 午後2時から

第2回 令和5年12月15日(金曜日) 午後2時から

令和4年度の中学校区学園化推進連絡協議会、地域コーディネーター会議の開催実績

中学校区学園化推進連絡協議会

令和4年4月21日(木曜日)

地域コーディネーター会議

第1回 令和4年 5月18日(水曜日)

第2回 令和4年12月16日(金曜日)

学園化構想第2ステージ

掛川市教育委員会では、平成29年2月の「掛川市中学校区学園化構想第2ステージ検討委員会」からの提言を受けて、「教育大綱かけがわ」における目指す姿の実現に向けて、中学校区学園化構想を生かしながら、各学園が地域と共に目指すべき子ども像を設定・共有し、その実現を図るため、9年間を見通したかけがわ型の小中一貫カリキュラムを編成し、それに基づいて行う系統性のある教育を推進するために、平成29年6月に「掛川市小中一貫教育推進基本方針」を策定しました。

